

# 令和4年度

## 山梨県スポーツ推進審議会

### (書面開催)

○ 報告事項

- 1 令和4年度山梨県のスポーツ振興施策の概要について
- 2 山梨スポーツ推進計画の進捗状況について
- 3 地域スポーツコミッション「やまなしスポーツエンジン」について
- 4 スポーツ無<sup>むじん</sup>尽効果検証事業について
- 5 児童生徒スポーツ活動促進事業について
- 6 障害者スポーツの推進に関する事業について
- 7 未来のトップアスリート発掘事業「甲斐<sup>かいしん</sup>人<sup>いちげき</sup>の一撃」について

## 目 次

資料1	令和4年度山梨県のスポーツ振興施策の概要	1
資料2	山梨スポーツ推進計画の進捗状況	2～3
資料3	地域スポーツコミッション「やまなしスポーツエンジン」	4～8
資料4	スポーツ <sup>むじん</sup> 無 <sup>む</sup> 尽 <sup>じん</sup> 効果検証事業	9
資料5	児童生徒スポーツ活動促進事業	10
資料6	障害者スポーツの推進に関する事業概要	11～12
資料7	未来のトップアスリート発掘事業「甲斐 <sup>かいしん</sup> 人 <sup>いちげき</sup> の一撃」	13
	山梨県スポーツ推進審議会委員名簿	14

### ※ 別綴じ

○参考資料 山梨県スポーツ推進計画（令和3年12月改定）

○未来のトップアスリート発掘事業「甲斐<sup>かいしん</sup>人<sup>いちげき</sup>の一撃」パンフレット

## 1 スポーツ推進に関する取組

- スポーツ推進計画の進捗状況  
令和3年度の進捗状況は資料2のとおり
- 県有施設の指定管理制度募集  
スポーツ施設を有する小瀬スポーツ公園、富士北麓公園、御勅使南公園、緑が丘スポーツ公園、飯田野球場、八代射撃場の指定管理者を公募

## 2 スポーツによる地域活性化に関する取組

- スポーツコミッション事業  
「スポーツで稼げる県」の実現のため、スポーツコミッションを核とした事業を展開
- 東京オリンピック・パラリンピック自転車競技ロードレースレガシー事業  
県内外のサイクリストが県内各地で気軽にサイクリングができる体制を構築

## 3 生涯スポーツに関する取組

- 地域スポーツ推進人材育成・派遣事業  
地域の誰もが参加できる総合的なスポーツクラブの運営を進め、質的な充実を図られるように支援する
- 生涯スポーツ情報発信事業  
県内スポーツイベント情報、県有施設予約等、県内体育施設の情報提供等

## 4 パラスポーツ活動に関する取組

- 県障害者スポーツ大会開催  
4月～5月に個人競技、11月～12月に団体競技を中心に実施
- 障害者スポーツ指導員派遣事業  
指導員の派遣、スポーツ交流教室の開催、指導員養成研修の開催・派遣
- 韓国忠清北道障害者スポーツ交流事業  
忠清北道選手団を招へいし、障害者のスポーツ交流を実施

## 5 競技力向上に関する取組

- 未来のトップアスリート発掘事業  
世界で活躍できるアスリートを早期に発掘・育成する
- 新しいスポーツ競技力向上サポート事業  
オリンピック競技種目のうち、国体種目でない新しいスポーツの競技力向上を図る
- スポーツトレーナーを活用した競技力向上事業  
競技団体が行う強化合宿等へのトレーナー活用に要する経費を助成

## ○ 国民体育大会等について

- 国民体育大会選手派遣
  - ・ 国民体育大会（栃木県） R4.10.1～11
  - ・ 冬季大会（青森県） R5.1.28～2.5 （岩手県） R5.2.17～20
  - ・ 関東ブロック大会（東京都） R4.8.26～28
- 全国障害者スポーツ大会選手派遣（栃木県） R4.10.29～31
- 2032（令和14）年に山梨県で国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の開催を目指す ⇒ 国や日本スポーツ協会へ開催に向けた準備

## 山梨県スポーツ推進計画の進捗状況

山梨県スポーツ推進計画第5章2の計画の進行管理に基づき、令和3年度における計画の進捗状況（数値目標達成状況）について、次のとおり公表します。

## 基本方針Ⅰ（子供のスポーツ機会の充実）

政策項目	指 標	2018年度 (平成30) の値	2021年度 (令和3) の現況値	2023年度 (令和5) の目標値
1	①「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における授業以外でほとんど毎日（週420分以上）運動やスポーツを実施している児童の割合（小5）	男子 56.9%	男子 54.3%	男子 59%
		女子 34.0%	女子 33.8%	女子 37%
	②「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における児童の体力合計点の全国体力合計点との比較（県平均/全国平均）×100（小5）	男子 98.9%	男子 98.4%	男子 100%
		女子 99.1%	女子 99.2%	女子 100%
2	平日1日と土日どちらか1日を休養日としている部活動顧問の割合（中学校・高校）	中学校 平日 80.4% 土日 93.2%	中学校 平日 89.6% 土日 96.1%	中学校 平日 100% 土日 100%
		高校 平日 79.0% 土日 80.9%	高校 平日 85.0% 土日 87.9%	高校 平日 90%超 土日 90%超

○ 学校、地域、家庭において、子供が運動を楽しむ機会を充実させ、運動の日常化を図りながら体力の向上を目指している。

## [1-①]

・ ほとんど毎日（週420分以上）運動やスポーツを実施している児童（小学5年生）の割合は令和元年度より低下したが、全国的に同様の傾向がみられ、背景としてテレビ、スマートフォンの視聴時間の増加などが考えられる。

## [1-②]

・ 体力合計点の比較（小学5年生）は、男子は令和元年度より全国平均値との差がやや開いたが、女子は平均値に近づいた。全国的に体力合計点の低下傾向がみられ、背景として上記①の割合が低下したことが考えられる。

## [2]

・ 県・市町村教育委員会及び各学校が策定したガイドラインに基づき、休養日の設定に取り組んだ結果、平日・土日とも割合が上昇し改善がみられた。

## 基本方針Ⅱ（健康教育の充実）

指 標	2018年度 (平成30) の値	2021年度 (令和3) の現況値	2023年度 (令和5) の目標値
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「朝食を食べない日が多い」「食べない」児童生徒の割合（小5、中2）	小5男子 2.2% 小5女子 1.4% 中2男子 4.8% 中2女子 3.9%	小5男子 2.5% 小5女子 1.9% 中2男子 4.4% 中2女子 4.2%	小5男子 2.0% 小5女子 1.3% 中2男子 4.6% 中2女子 3.5%

○ 子供たちの望ましい生活習慣の定着を図るため、学校関係者と連携・協働しながら、学校保健、学校給食、食育等の充実に取り組んでいる。

## [1]

・ 「食育推進一校一実践」の取り組みなどにより、全国の数値（小5男子 3.5%・小5女子 3.0%、中2男子 5.5%・中2女子 5.0%）より上回ったが、令和元年度よりは低い結果となった。

### 基本方針Ⅲ（若年期から高齢期までライフステージに応じた生涯スポーツの推進）

政策項目	指 標	2018年度 (平成30) の値	2021年度 (令和3) の現況値	2023年度 (令和5) の目標値
1	過去1年間に一度も運動・スポーツを実施しなかった人の割合	20.3%	18.6%	10%
2	総合型地域スポーツクラブに関する実態調査におけるPDCAサイクル(※)により運営の改善等を図っている総合型地域スポーツクラブの割合	30.4%	22.2%	70%

※PDCAサイクルとは、法人などの組織の事業活動でPlan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)を繰り返しながら業務を継続的に改善していく手法。

- 誰もが生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現し、県民一人ひとりが年齢や興味、関心、適性などに応じた生涯スポーツに取り組めるよう支援している。

[1]

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、スポーツへの参画機会の減少や自宅での自粛期間等が長引いたことにより、運動不足を感じる県民が増えた。そのため、運動に対する意識が高まり、未実施率が減少に転じた。

[2]

- ・ 事務局内や運営委員会においては、現状を把握し改善するための話し合いの機会を設けていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、スポーツクラブの活動が停滞したことにより、次年度の計画改善につなげることができなかったクラブの割合が増加した。

### 基本方針Ⅳ（競技力の向上）

政策項目	指 標	2018年度 (平成30) の値	2021年度 (令和3) の現況値	2023年度 (令和5) の目標値
1	①ターゲットエイジを対象とした発掘・育成事業を実施している競技団体の割合	36.6%	78.0%	100%
	②国民体育大会における天皇杯得点と順位	803点	—	900点
		36位	—	20位台
2	競技力向上に係る優秀な若手指導者を育成・強化している競技団体の割合	24.4%	56.1%	100%

- スポーツ関係団体と連携し、次世代アスリートの発掘・育成を進めるとともに、指導者の養成を進め、ジュニアからトップレベルに至る一貫指導体制の構築を図っている。

[1-①]

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部の事業は中止となったが、各競技団体において、感染症対策を実施しながらスポーツ教室を実施するなど、次世代アスリートの発掘育成に取り組んだ。

[1-②]

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度の国民体育大会本大会（三重）は中止となった。

[2]

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部の公認指導者講習会は中止となったが、実施方法をオンラインに変更するなどにより、若手指導者を育成・強化している競技団体の割合は増加した。

## ▶ 地域スポーツコミッション 「やまなしスポーツエンジン」

### ▶ やまなしスポーツエンジン ◀

令和3年3月に制定した「山梨県スポーツ成長産業化戦略」で定める「スポーツによる地域活性化」を実現するため、スポーツツーリズムの推進やスポーツの活用による他産業の財・サービスの創出を担う組織として、本年4月に設立

### ▶ 令和4年度の取り組み ◀

- (1) 南アルプス林道を活用したサイクルイベントの実証実験
- (2) アウトドアスポーツアクティビティの開発
- (3) スポーツ関連データの収集・分析

## ▶ (1) 南アルプス林道を活用したサイクルイベントの実証実験

### ▶ イベント内容 ◀

日 程	令和4年10月16日(日)
目 的	<ul style="list-style-type: none"><li>・来年度以降の本格開催に向けた課題の洗い出しや、安全性・開催費用・規模等の検証</li><li>・サイクルイベントを通じた南アルプス地域の魅力発信</li></ul>
会 場	[スタート会場] 南アルプス市営芦安第2駐車場 [イベント会場] 広河原周辺
参加者	約100名 ※一般参加者を募集せず、自転車メーカー、報道関係者、観光事業者、自転車専門家等を招待し実施
コース	○ 南アルプス市営芦安～夜叉神駐車場～広河原 距離：約20km(片道) 獲得標高：約900m(往路)
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・タイムを競わないサイクルイベントとして実施</li><li>・コースとなる「夜叉神～広河原間(県営林道南アルプス線)」は、一般車の通行が規制されており、また2輪車の通行は禁止されているため、イベント当日のみ自転車の走行を可能として実施</li><li>・コースの特性上、交通制限を行いイベントを実施</li><li>・主にe-bike(スポーツ電動自転車)を対象車両とする</li><li>・往路のフィニッシュ地点である広河原では、地元食材を用いた料理の提供やアウトドアアクティビティの体験等を実施</li></ul>

## ▶ (1) 南アルプス林道を活用したサイクルイベントの実証実験

### コース

距離 : 約20km    獲得標高 : 約900m    平均勾配 : 約4.5%  
最大勾配 : 約20%    所要時間 : 約100分    定員 : 約100名

南アルプス市芦安～夜叉神～広河原





## ▶ (2) アウトドアスポーツアクティビティの開発

### 目的

四季（春・夏・秋・冬）に応じた新たなアウトドアスポーツアクティビティ（以下、「アクティビティ」という）を開発し、やまなしスポーツエンジンの商品としていく

### 開発地域

秋のアクティビティは、南アルプス市の「広河原」とするが、その他の季節は制限しない

### 特記事項

- ・ 山梨県が策定した「やまなし自然サウナ聖地化戦略」を推進するため、アウトドアサウナが体験できる仕組みを組み入れ、「スポーツ×サウナ」として、「やまなし自然サウナ」のブランド力強化につなげる
- ・ 高付加価値化を念頭に、スポーツに、食、文化、歴史等の複数の要素を掛け合わせ、ストーリー性、テーマ性のある内容とする

## ▶ (3) スポーツ関連データの収集・分析

### 目的

本県で開催されるスポーツイベント参加者の実態及びニーズ、消費額、満足度等を調査・データ分析等を行い、県内スポーツイベントに対する課題を抽出するなどし、今後の成果指標設定に資することを目的とする

### 対象イベント

- ・ 県内スポーツイベント 7件以上（参加者募集定員500名以上）
- ・ 県内スポーツアクティビティ 500サンプル以上

### 対象者

スポーツイベント・アクティビティ参加者（外国人を含む）

### 調査方法(例)

- ・ 主催者がイベント終了後に送る、参加者あての電子メールにアンケートURLを貼ってもらう
- ・ アンケートにアクセス可能な二次元バーコードを記載したチラシを作成し、イベント受付時に配布

### 調査項目(例)

参加者の属性情報、来場手段、イベント及び周辺での消費額、満足度、県内で観光したい場所など

スポーツ無<sup>むじん</sup>尽効果検証事業

## 【内容】

県民の運動習慣の定着を図るため、複数人が集まってスポーツを継続的に行う活動の実施に要する経費について、予算の範囲内で補助する。

## 【主旨】

スポーツの実施率と自殺死亡率には負の相関があるとの調査結果を踏まえ、「スポーツの力を活用した自殺リスクの低減を目指す。そこで、複数人で集まり継続してスポーツを行う「スポーツ無尽」を推進し、運動習慣の定着につなげていく。

## 【対象者】

- ・ 県内に在住する18歳以上（高校生は除く）で構成される4人以上のグループ。
- ・ メンバーの半数以上に月2回以上スポーツをしていない者が含まれるグループ。
- ・ メンバー全員で活動することを原則。ただし、不可抗力等によりメンバー全員で活動できない場合、月2回以上スポーツをしていない者が最低1名以上は参加すること。
- ・ 期間内に5回以上（但し、月会費等が発生する活動のみの場合は連続する3ヶ月以上）の活動を行ったグループ。
- ・ 300グループを上限とし、申請が上回った場合は抽選等

## 【補助額】

- ・ 1グループ当たり20,000円を上限とするが、実績報告が20,000円に満たない場合はその金額を上限とする。メンバー全員によらない活動がある場合は、当該額から減額することがある。

## 【補助対象】

- ・ スポーツ施設使用料等  
活動場所となる、コートやグラウンド等を使用するための経費（各種コート、グラウンド、屋内運動施設等使用料）

※屋内運動施設を使用するに際は、やまなしグリーン・ゾーン認証を受けた施設に限る。

- ・ 実施するスポーツの用具の借用を行う場合に、その借用に要する経費（スキー板や自転車等道具のレンタル代）
- ・ その他（ボウリングゲーム代、ゴルフプレー代、ゴルフ練習場利用代等）
- ・ 運動を目的としたジムや教室に入会しようとするときに発生する入会金や月会費（フィットネスクラブ、スイミングスクール、ヨガ教室入会金、月会費等）

## 【申請の上限】

- ・ 1グループ1回とする。交付決定を受けたメンバーが、別グループに属して申請した場合、無効とする。

## 【効果検証】

- ・ 感想や今後のスポーツ活動継続の意向、運動習慣定着に与えた効果等をアンケート調査をする

## (参考) スケジュール

No.	項目	時期
1	周知・募集期間	R4年8月中旬～8月31日まで
2	交付決定	随時（9月1日～）
3	活動実施期間	交付決定～R5年1月31日まで
4	実績報告	R5年2月28日まで
5	補助決定者への支払い	実績報告後約1ヶ月

## 児童生徒スポーツ活動促進事業

## 【内容】

孤独感や悩みを抱えた児童生徒に対してスポーツ活動への参加のきっかけとなるよう、ヴァンフォーレ甲府・山梨クィーンビーズのホームゲームの観戦チケットを配布する。

## 【主旨】

孤独感や悩みを抱える児童生徒のスポーツ活動への参加を促進するため、スポーツに触れる機会を創出する。趣味などを通じたゆるやかなつながりが自殺を抑制すると言われており、スポーツ観戦をきっかけに、「スポーツ」の力を活用し、「人と人とのゆるやかなつながりを形成する」ことにより自殺リスクの低減を目指す。

## 【配布枚数】

- ・ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム 1試合当たり30人×11試合（7月から10月）
- ・山梨クィーンビーズホームゲーム 1試合当たり30人×10試合（10月から2月）

## 【対象】

- ・県総合教育センターで教育相談を利用している児童及び生徒
- ・各市町村教育委員会で適応指導教室を利用している児童及び生徒

## 【配布方法】

- ・対象の児童及び生徒に本事業を案内し、観戦を希望する児童、生徒に配布する。

## 【配布の考え方】

- ・児童生徒と引率者に1枚ずつ・1組につき2回まで配布

## 【効果検証】

試合観戦後に観戦した感想や観戦をきっかけにスポーツ実施への興味や関心が起きたか人とのつながりができたかなどをアンケート調査する。

## 障害者スポーツの推進に関する事業概要

県では障害のある人がスポーツを通じて社会参加できるよう、スポーツ活動を行う機会の提供、支援など、様々な事業を行っています。

(※各事業の問合せ先は、次ページの下欄をご覧ください。)

### ○ 山梨県障害者スポーツ大会

障害のある人がスポーツを通じて身体機能の改善を図るとともに、仲間づくりなどを通じて社会参加を推進することを目的としたスポーツ大会を開催します。なお、4～5月に行われる大会は、令和4年10月29日から栃木県で開催される全国障害者スポーツ大会の選手選考も兼ねています。

4～5月：陸上競技、フライングディスク、卓球、水泳、ボウリング、アーチェリー、ポッチャの部

11～12月：バレーボール、卓球(団体)、バスケットボールの部

### ○ 全国障害者スポーツ大会派遣費補助金

全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣や、代表選手を対象とした強化練習会の開催等を支援します。

### ○ 障がい者スポーツ指導員派遣

障害のある人がスポーツの指導を受けようとする場合に、障害者スポーツの専門的知識を有する「障がい者スポーツ指導員」を派遣し、安心・安全にスポーツを行えるよう支援します。指導員の派遣は無料です。

### ○ スポーツ交流教室

障害のある人もない人も一緒にスポーツを楽しむことで、障害への理解や障害のある人の社会参加を推進することを目的としています。参加料は無料です。事前に山梨県障害者福祉協会へ申し込みを行うことで、どなたでも参加することができます。

### ○ 障害者スポーツ用具の貸出

山梨県障害者スポーツ協会では、次のスポーツ用具を貸し出しています。借用は無料です。

グラウンドゴルフセット	2式	スポーツ用車いす	4台
フライングディスク	30枚	ジャベリックスロー	5本
フライングディスク アキュラシーゴール	3台	ソフトボール	10個
フライングディスクゴルフ ゴール	4台	砲丸	2個
フライングディスク ディスゲッター	1台	ビーンバッグ	10個
盲人用卓球台	1台 注)貸し出しには2tトラックが必要になります。	風船バレー	2セット
		ドッチビー	2個
ポッチャ	ボール	ゴールボール	2個
	ランプ	鈴入りボール	3個

### ○ パラスポーツ・コーディネーター配置事業

令和4年度より山梨県障害者福祉協会にパラスポーツ・コーディネーターを2名配置しました。今後は関係団体との連携をより強化し、誰もがスポーツに参加可能な環境づくりを推進していきます。

#### (1) 障害者スポーツに関する相談窓口

障害者本人や支援者、スポーツ団体等からの相談に対し、パラスポーツ・コーディネーターが対応します。

例えば、障害のある人がパラスポーツ競技団体の練習会へ体験参加をしたい時に、当該競技団体への受け入れ調整や、初回参加時の同行などを行い、スポーツ活動が円滑に行われるようサポートします。

受付時間：月曜祝日を除く午前8時30分から午後4時30分まで(正午から午後1時までを除く)

問合せ先：055-252-0100 (山梨県障害者福祉協会)

相談例・障害者スポーツ大会に参加したい

- ・パラスポーツ体験ができるイベントを知りたい
- ・パラスポーツ体験イベントでボランティアをしたい
- ・パラスポーツ競技団体の練習に体験参加したい 等

## (2) パラスポーツやってみるじゃんフェスティバル

パラスポーツ・コーディネーターが中心となり、複数のパラスポーツ体験ができるブースを設置し、障害の有無に関わらず誰でも参加できる総合的スポーツイベントを開催します。

令和4年度は、11月6日(日)に、山梨県立青少年センターで開催します。

### ○ 障がい者スポーツ指導員研修(初級取得)

障害のある人が、安全で適切にスポーツ活動を行うことができる環境を作るため、日本パラスポーツ協会認定「障がい者スポーツ指導員養成講習会」を年1回開催し、指導員の養成を行います。講習会を受講することで、初級障がい者スポーツ指導員として日本パラスポーツ協会へ登録され、地域のスポーツ交流教室などで、指導を行うことができます。

受講対象…18歳以上

受講費用…資格申請・登録料9,300円、テキスト代2,500円

毎年1月から2月にかけてに開催予定です。

### ○ 障がい者スポーツ指導員中央研修会派遣(中級・上級取得)

日本パラスポーツ協会主催の中央研修会(県外研修)受講に要する旅費等を助成します。

(参考)障がい者スポーツ指導員の種類と資格取得要件等

級	講習	講習日数	受講要件
初級	「初級障がい者スポーツ指導員養成講習会」 日本パラスポーツ協会認定の県内研修	4日間	18歳以上
中級	「中級障がい者スポーツ指導員養成講習会」 日本パラスポーツ協会主催の県外研修	10日間	・初級所得後2年以上経過 ・80時間以上の活動実績
上級	「上級障がい者スポーツ指導員養成講習会」 日本パラスポーツ協会主催の県外研修	8日間	・中級所得後3年以上経過 ・120時間以上の活動実績

※ 各事業の詳しい内容については、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先	連絡先
・山梨県障害者福祉協会 (パラスポーツ・コーディネーター) ・山梨県障害者スポーツ協会	TEL 055-252-0100 FAX 055-251-3344

山梨県障害者福祉協会

山梨県障害者福祉協会HP



※山梨県障害者スポーツ協会は、山梨県障害者福祉協会内に所在

## 未来のトップアスリート発掘事業「<sup>かいしん</sup>甲斐人<sup>いちげき</sup>の一撃」

### 1 事業目的

優れた資質を有する県内の子どもたちに対し、早期に自身の適性に合った競技に出会える環境を整え、オリンピックや世界選手権等で活躍できるアスリートへと育成する。

### 2 主催

山梨県（スポーツ振興局スポーツ振興課）

### 3 事業概要

感覚神経が発達する世代（ゴールデンエイジ）を対象に体力測定会を行い、20名程度を選抜した後、4～10競技程度の競技体験ができるスキルアップ教室や運動能力向上・知的能力向上を目的とした合宿を実施しながら自身の適性に合わせた競技への選択を促す。

#### ◆全体スケジュール

	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1期生				測定会																																
	← スキルアップ教室・基礎能力向上合宿の開催(1.5年間) →												← スキルアップ教室・基礎能力向上合宿の開催(2年間) →												← 教室・合宿の開催 →											
	4競技												4競技+5～6競技を追加												9～10競技											
2期生																																				
	← スキルアップ教室・基礎能力向上合宿の開催(1.5年間) →												← スキルアップ教室・基礎能力向上合宿の開催(2年間) →												← 教室・合宿の開催 →											
	4競技												4競技+5～6競技を追加												9～10競技											
3期生																																				
	← スキルアップ教室・基礎能力向上合宿の開催(1.5年間) →												← スキルアップ教室・基礎能力向上合宿の開催(2年間) →												← 教室・合宿の開催 →											
	4競技												4競技+5～6競技を追加												9～10競技											

#### (1) 体力測定会の開催（募集上限：200名程度）

県内在住の小学校5年生(第2期生以降は小学校4年生)を対象に体力測定会を開催。

#### (2) 対象者の選考

測定会参加者から20名程度を選考。

#### (3) スキルアップ教室・基礎能力向上合宿の開催

##### ① スキルアップ教室（月3～4回を予定）

複数競技の体験教室を開催。競技団体の指導者のもと、専門的な技術の取得・向上を図る。

##### ② 基礎能力開発合宿の開催（年1回を予定）

基礎的な体力・運動能力等の向上を目指す「身体能力向上プログラム」や自己分析・目標設定等の理解を深める「知的能力向上プログラム」を実施する。また、保護者を対象とした栄養プログラム・メンタルプログラム等を実施する。

#### (4) 事業修了後（適性競技の選択）

自身の適性に合った競技を選択できるようにし、競技団体の育成事業につなげる。

## 山梨県スポーツ推進審議会委員名簿

任期：令和5年7月17日まで

(領域別氏名50音順)

領域	No.	氏名	所属・役職	備考
学 識 経 験 の あ る 者	1	いいだ ただこ 飯田 忠子	山梨県スポーツ推進委員協議会 会長	会長
	2	いで ひとし 井出 仁	公益財団法人山梨県スポーツ協会 専務理事	
	3	かわかみ ことみ 川上 琴美	山梨学院大学スポーツ科学部 非常勤講師	副会長
	4	こばやし みか 小林 美香	一般社団法人ウーマンズ・スポーツプロモーション・サポート 理事長	
	5	きの ゆめか 佐野 夢加	本県出身オリンピック・2012ロンドン五輪 (駿台甲府小学校 講師)	
	6	つちや ひとみ 土屋 ひとみ	総合型地域スポーツクラブ富士山 アシスタントマネージャー	
	7	なかむら かずひこ 中村 和彦	山梨大学理事 副学長	
	8	なかやま てつお 中山 哲郎	一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 事務局長	
	9	なら たえこ 奈良 妙子	山梨県障害者スポーツ協会 会長	
	10	のろせ しげる 野呂瀬 秀	山梨県レクリエーション協会 会長	
	11	はぎわら ともこ 萩原 智子	本県出身オリンピック・2000シドニー五輪 (公益財団法人日本水泳連盟 理事)	
	12	やまもと けんいち 山本 健一	プロトレイルランナー (公募委員)	
	13	わたなべ ひろし 渡邊 洋	一般社団法人山梨県医師会 副会長 (富士五湖ラグビーフットボール協会 理事)	
関 係 職 行 政 機 関	14	さかせがわ よしひろ 逆瀬川 慶浩	山梨県高等学校体育連盟 会長 (県立山梨高等学校 校長)	
	15	すがや しん 菅谷 信	山梨県小中学校体育連盟 会長 (甲府市立富竹中学校 校長)	